

<<最終更新日：2019年02月19日>>

[English](#)

基本情報

時間割コード/Course 331511
Code**開講区分(開講**学期)/ 集中
Semester**曜日・時間/**Day and 他
Period**開講科目名/**Course 情報ネットワーク経済学
Name
(Japanese)**教室/Room** 未定**開講科目名**(英)/ Economics of Information Network
Course
Name**定員/** 100
Capacity**ナンバリング**/Course 33BIEN5M312,33PUAM5M312,33COSC5M312,33INSE5M312,33INNE5M312,33MUEN5M312
Numbering
Code**単位数/** 2.0
Credits**年次/** 1,2年
Student
Year**担当教員/**

Instructor 東野 輝夫,新井 圭太,山口 弘純

詳細情報

講義題目/Course Name**開講言語/Language of the Course**

日本語

授業形態/Type of Class

講義科目

授業の目的と概要/Course Objective

講義を通じて、情報ネットワークと経済学、政策との関連を理解する。

また、近年の情報セキュリティ意識の高まりを

受け、経済学の観点から情報セキュリティにかかるコストについて議論する。

以下の学習を行い、情報ネットワークと経済学、政策との関連を理解できるようになることを目標とする。

1. 市場経済のメカニズム (Market Mechanism)
2. 経済システムと厚生 (Economic System and Welfare)
3. 規制経済学 (Regulatory Economics)
4. 情報経済学 (Economics of Telecommunication)
5. マクロ経済と情報通信 (Macroeconomic perspective)

学習目標/Learning Goals

履修条件・受講条件/Requirement / Prerequisite

授業計画/Class Plan

- 第01～03回 市場経済のメカニズム (Market Mechanism)
- 第04～06回 経済システムと厚生 (Economic System and Welfare)
- 第07～09回 規制経済学 (Regulatory Economics)
- 第10～12回 情報経済学 (Economics of Telecommunication)
- 第13～15回 マクロ経済と情報通信 (Macroeconomic perspective)

授業外における学習/Independent Study Outside of Class

復習が望ましい

教科書・教材/Textbooks

授業開始時にプリントを配布する。

[1] 坂井利之・東倉洋一・林 敏彦編著『高度情報化社会のガバナンス』NTT出版、2003年

[2] 林 敏彦編著『情報経済システム』NTT出版、2003年

[3] Carl Shapiro and Hal. R. Varian, Information Rules: A Strategic Guide to the Network Economy, Harvard Business School Press, 1999.

参考文献/Reference

成績評価/Grading Policy

出席50%、レポート50%で評価する。

コメント/Other Remarks

受講者の関心によって、上記の内容を変更することはあります。

特記事項/Special Note

オフィスアワー/Office Hour

受講生へのメッセージ/Messages to Prospective Students

- ・工学系の方々にとって、社会科学的な視点はわかりづらい面が多々あるかと思います。ただし、この講義は経済学というものを全く知らない方でも参加できるよう配慮してありますので、ご安心ください(履修の前提等はありません)。
- ・情報通信産業を取り巻く経済と政策の動きに

ついて、一緒に考えたいと思います。関心のある方と共に学びたいと思います。

学生への注意書き